



令和5年度を振り返って

- ★令和5年度を振り返ってみると、大きな出来事として9月の大雨によって、ひねり沢の遊歩道が過去に無い程の大きな被害を受けたことだ。遊歩道は削れ取られ砂防ダムは埋まり、流れが見られない場所も出来た。
- ★この為、例年通りの作業は出来ず、活動の中心は管理道路沿えとなった。実施した主な作業は、管理道路のおむすび池付近からS字トンネルに向け、道路に垂れ下がる樹木の整理、馬力神からピオトープに掛け樹木の第1次間伐作業やくぬぎ広場付近が中心となった。
- ★その他、ネイチャーセンター周囲とくぬぎ広場の赤松の枯損木の処理を実施した。

令和6年度を迎えて

令和6年度の活動は？

- ★大雨被害の復旧作業時期は不明なので、令和6年度の保全作業も前年とほぼ同じと予想される。間伐作業は馬力神の後半分伐採、かたつむり植樹地の2回目の間伐が中心と思われる。
- ★除草作業は、石の池やどんぐりの森及びおむすび池植樹地と堂平ルート上の遊歩道などが中心になると予想される。
- ★保全活動の作業は会員高齢化や参加人数の減少で2、3回に分けての実施が多くなったが、集まって談笑も交じて作業をすることでそれなりの交流を楽しんでいる。

実施した保全作業

保全項目	実施日	作業内容	作業の様子
植樹作業	3月12日 (景観)	・おむすび池バイパスのピオトープ側斜面は平成15年に植樹を実施したが、土壌が悪いため根付が悪い。 ・そこでこの斜面に60本の支えの竹を立て、根本に穴を掘り、まず約40本の手持ちの苗木を植える計画だ。	
	4月18日 (野草)	・おむすび池バイパスのピオトープ側斜面に植樹を実施し北側の斜面にも樹木が育つよう工夫した。 ・竹杭の根本に掘った穴に腐葉土と共に苗木を植付け、初期の段階で確実に根付くよう期待し植付けた。	
枯松処理作業	3月21日 3月28日 (野草)	・くぬぎ広場の管理道路沿えの枯れ松の処理を実施した。10本近い松が枯れ始まり、倒木前に処理を実施予定。 ・くぬぎ広場側に倒れると処理に手間を要し、歩道側は歩行者に危険が及ぶため、倒壊前に処理する計画。	
大雨被害復旧作業	4月4日 (野草・景観)	・ピオトープのミズバショウ保護柵内に大雨時堆積した土石の排除作業を実施した。 ・人手が多いと作業も進むと考え、23日の景観作業を土石排斥作業に充て、早期排斥を図ったがまだ残った。	
	4月23日 (景観)	・ピオトープ内に大雨時に堆積した土石の排出作業を実施。何回か野草班で実施したが、手数が多くて今回は景観作業で実施。まだかなり土石が残っており2、3回は必要だ。 ・他作業の合間を見て、更に排斥作業を計画する要あり。	

シジュウカラの巣箱掛け

- ★3月5日(火)、少し遅ればせだがシジュウカラの巣箱掛けを実施した。ネイチャーセンター周り、堂平ルート及び管理道路ルートの3班に分かれて実施した。
- ★昨年作った巣箱18個と古いのは中を掃除し全数で約80個。
- ★古い巣箱では約半分にシジュウカラの巣作りの痕跡が確認できた。



やまぐりの丘保全作業

- ★3月7日、高速道路を覗く柵の改修作業を実施。柵は設置後時間が経過、危険な状態で改修した。
- ★ネイチャーセンター脇に設置ベンチ2脚を新規改修した。頂上を望むに邪魔な樹木も整理。



シイタケの植菌

- ★4月2日(火)に間伐材約150本の植菌作業を実施した。
- ★原木は、馬力神付近の間伐材で所謂、線香林で真直ぐで植菌作業も楽だった。
- ★植菌した原木はケヤキの根本に重ねた。



令和6年度総会開催

- ★4月6日(土)開催の総会は、雨のため予定の森の教室から団地集会所で開催。
- ★現在、会員総数24名中21名参加の下、5年度実績と6年度計画が全員一致の下、承認された。



ミズナラの「ナラ枯れ」

- ★市で植えたと言われるミズナラは、ひよどり越えのところに1本残り大木となっていたが、2年程前に「ナラ枯れ」で残念ながら処分された。
- ★ミズナラは、ブナ科の落葉高木で、コナラに対してオオナラとも呼ばれる。名前の由来は、ナラの仲間だが水分を多く含み燃えにくいことによると云われる。
- ★コナラよりも樹高が高く通常は15m~30mほどになると云われ、中には35mに達するものもあるようだ。葉も7~20cmの長楕円形でコナラより輪郭のギザギザが大きい鋸歯状となる。
- ★助川山の植樹はコナラやクヌギが中心なのでミズナラも楽しめるようにしたいものだ。

ミズナラの復活計画

- ★ミズナラの復活に向け、昨年から活動が既に始まっている。会員の木幡さんが八溝山で発芽の始まっているミズナラのドングリを多数拾ってきて、森の教室前の苗畑に蒔いているので、早く芽が出てくれるの待ちたい。
- ★苗畑には、既にミズナラの苗も育てていたが、今の状態は、他の苗との区別が付き難いようになっていたため、今回は発芽当初から工夫してコナラやクヌギと区別して管理し、移植出来る大きさまで育て上げたいものだ。
- ★植えられる状態まで伸びたら、石の池北側の斜面などに移植する計画で、池端のベンチに腰掛け、ミズナラの成長を楽しみたいものだ。

季節の花便り・野草班

★季節の野草便り  
今年温くなる時期がやや遅くなった感じがあり、早春に咲く草花も例年より少し季節が進んでから見られた気がする。また、ひねり沢は昨年秋の大雨で土砂に埋もれ、どうなるか気になるころだがニリンソウやユリワサビなどは何時もの場所で観察できた。スマレ類は少し遅いか。



妹ヶバナ フェノ

ノイミにミガ 好ナソウ 好サビ スミレ ニリンソウ ユリワサビ ミズバショウ

★季節の樹木便り  
今年、ヤマザクラの開花がオオシマザクラに間を置かず咲いたと云う人も多い。気温が低い日々が続く、温くなるのが例年に比べやや遅くなったことによるものか。



ゴボシ コトコ ヲイカシ ヲイカシ アビ ダンコウバイ



ミヤマサキ カモジ ヤマツツク ヤマツツク キツツク カキ

担当：(鈴木)

パトロールだより

- ◆R6/1、青葉台団地在住の高齢男性が助川山に向かい行方不明となっている。ご家族や警察関係者含め、複数回捜索を実施したが、未だ手掛かりを掴めていない。パトロール時には周辺にも目を配り、不明者の痕跡有無の確認もお願いした。
- ◆昨年の台風襲来後、ひねり沢周辺は立入り禁止としているが、「侵入者」は絶えず良く見られる。見かけた場合は、沢は安全か確認出来ていないことを説明し、立入り禁止に協力をお願いして欲しい。
- ◆倒木や折れ枝が増えて来ており、パトロール時には歩行者に危険が及ばないように対応願います。
- ◆4月下旬に市役所で一部の「ナラ枯れ」被害はまだ残っているはずなので、見つけた際は「黄色テープ」で表示し、作業時には役員他に連絡戴きたいと思えます。

担当：(梶川)

令和6年度のパトロール計画と実施日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画	2	4	3	2	2	2						
実施	2											
中止												



イナバネ

★助川山の管理道路沿えの法面にイタチハギがかなり生育している。ハギのハナなどは全形ハギの花を5月末から咲かせるが一般の人にはこれがハギと思ってしまう。イタチハギは北米原産のマメ科の低木で日本にも移入され分布しているが在来種の生育を阻害したり問題がある。日本生態学会では侵略的外来種に選定している。個人的な見方だが、見た感じがあまり見栄えの悪い「ハギ」には見えないがどうだろうか。一方で法面等の緑化樹木として有用で活用されているとの事で助川山に生えているのは緑化の為に思われる。五月頃から開花が始まるのであまり増え過ぎないよう監視したい。(睦)

イタチハギについて

おむすび池

くらぶ内外の話題

- ◆森の教室前の広場にケヤキが数本移植されている。このケヤキは移植当初、倒木防止のため、かなり太いワイヤー数本で支えているが、これが長年移植当時のまま維持されているため幹に食い込んでおり、見た目には大変痛々しい。
- ◆最近、このステーのワイヤーをケヤキに傷付けずに何とか外せないか話題になっている。皆で知恵を出し外したいもの。

編集後記

- ◆最近、腰痛で山歩きがほとんど出来なくなり、会員各位にパトロールなどで回った序に野草などの写真を撮り、提供して貰い何とか紙面を纏めることが出来た。
- ◆ビオトープは昨年の大雨で土砂が堆積したが、土砂を手作業で排出した結果、ミズバショウが咲いて呉れた。